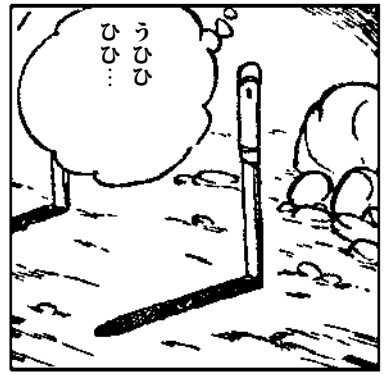
馬天平
いそげ月影
大砲はもう
あの山のふ
もとまでき
ているぞ！
バカカバカカ
堀江卓

天
むっ
ちかみちを
とおって
いっこくも
はやく
大砲隊へ
……
そのこと
を しらせ
よう
それっ！


うひひ
ひひ…

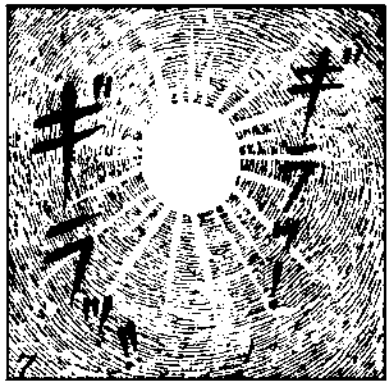
地面にたてた　このこづかのかげが……
2

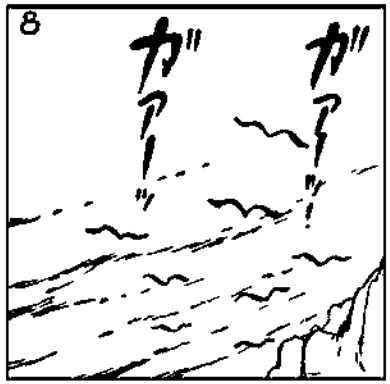
むこうのこづかに重なるまでに　あと三十分！
3

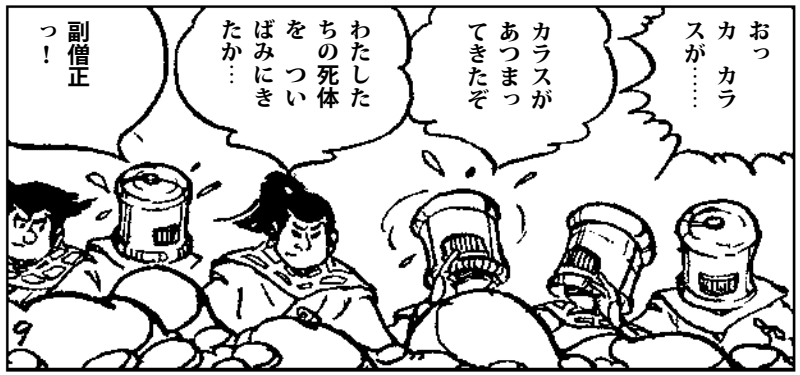
三十分たてば　流騎隊の大砲隊が　この普化宗門の本山にとうちゃくする……
4

そのときが　あいつらの…
さいごだっ!!
うわっはっはっはっ……
5

うーっ
……
……
6


ギーラ!!
ギラ!!
7


ガアー!!
ガアー!!
8


おっ　カラスが……
カラスがあつまってきたぞ
わたしたちの死体を　ついばみにきたか…
副僧正っ！
9

もう がまんが できま せん
どこへ いくっ まてっ！
10

またぬか！ ばかっ！ いまでていけば ねらいうちされて犬死するだけだ
11

でも…… でも やつらの 大砲隊が とうちゃくして ぜんめつされるのをまつよりも…
12

流騎隊のやつらを たとえ一人でも斬って 死ぬほうがましです！
まてっ まちたまえ！
13

じつは わたしも さきほどまでは そうおもっていたが……
14

天平くんは わたしたちを すくうために きけんをおかして ここをでていかれたのだ！
15

天平くんが かえってきて もし わたしたち全員が 犬死をしていたら なんという だろうか
16

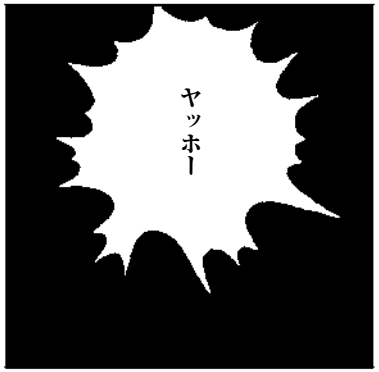
たいせつな 人の命をそまつにすてた大ばかものとののしるだろう！ なげくだろうよ！
17

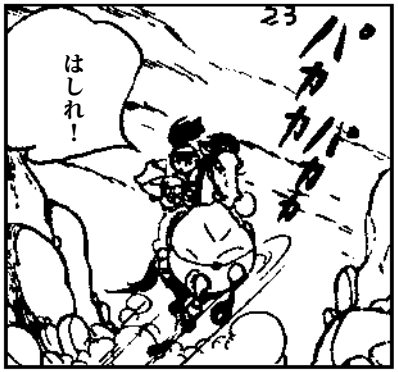
天平くんは 人の命の大切なことを わたしたちにおしえるために 身のきけんをもかえりみず……
18

ここをでられたんだぞ
でも 副僧正 天平さんは…
19

あの崖から おちては とうてい……
きみは そうおもうか わしは ちがう……
20

いやきっと 生きている にちがいない
そして わたしたちを すくうために いまごろは…
21


ヤッホー


23
パカパカ
はしれ！

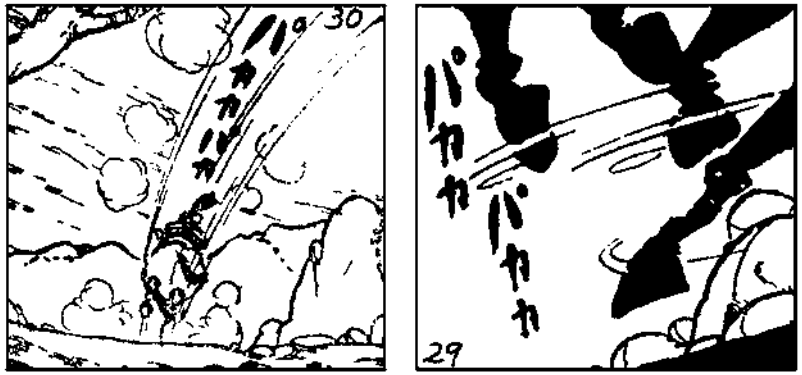
はしれ月影！
もうすぐ流騎隊の大砲隊がみえるころだが……
24

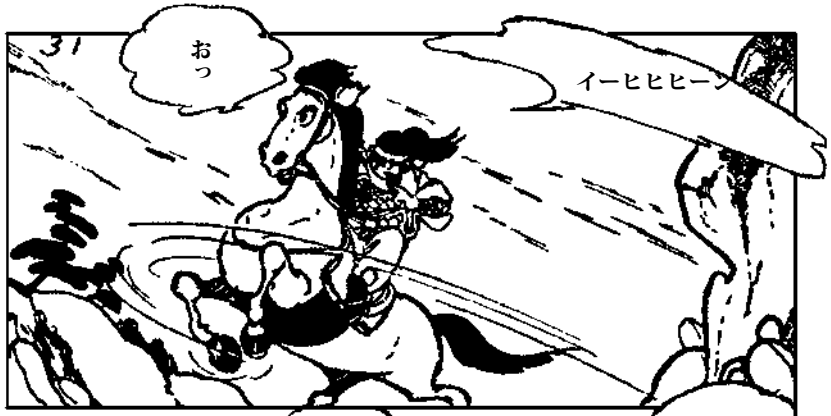
25
ヒヒヒヒーン
なにっ！

天馬天平がこの道を!?
はいこの大砲隊をめざしてやってきます
26

もうすぐあらわれるとおもいます
報告おわり！
うーむよし！ごくろうであった
27

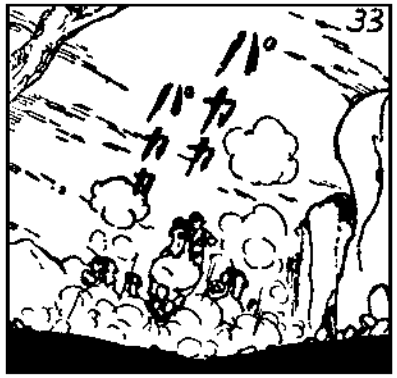
28
ちっ天平めどうするかみておれっ
おーい組長あつまれーっ
はっ！


パカカ
パカカ
29
パカカ
パカカ
30

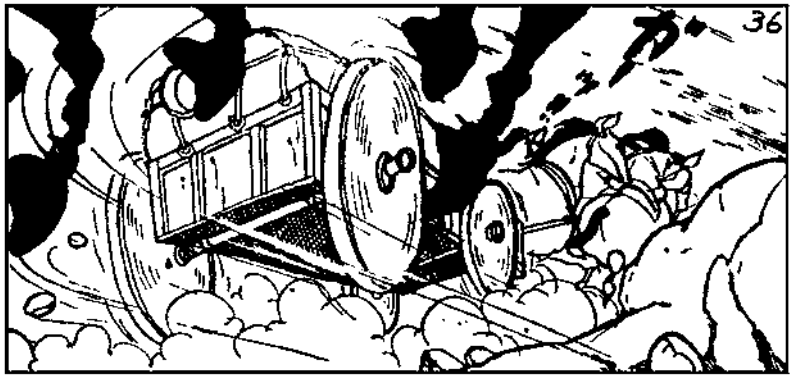

31
おっ
イーヒヒヒーン

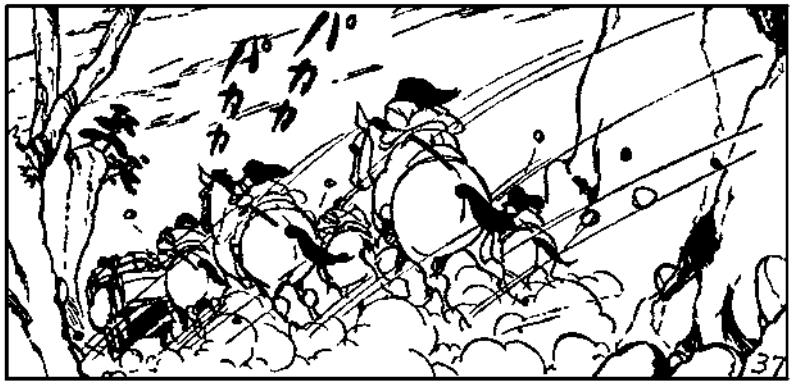
32
あれだ
きたなっ
パカカ
パカカ
ガーラララ

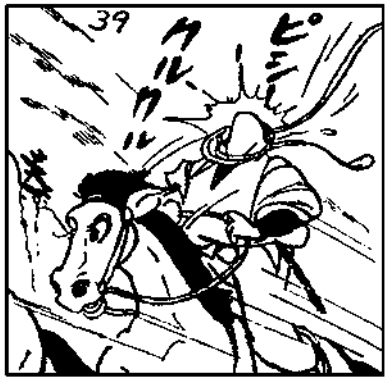
34
ヤッホー

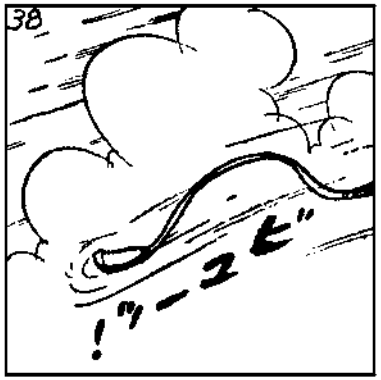

33
パカカ
パカカ

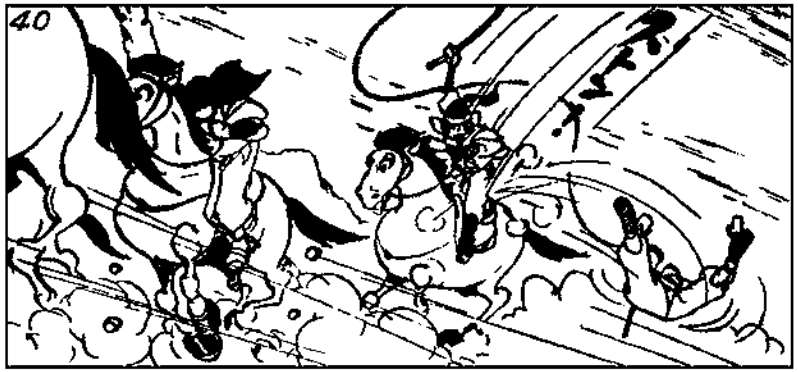
ふふふ……
きたなっ！
ハイヨーッ
ガーラララ
ガーラララ
35

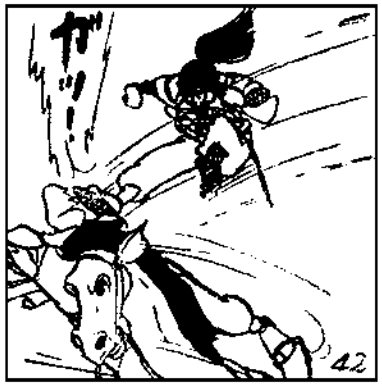

36
ガ


37
パ
カ
カ
カ
カ

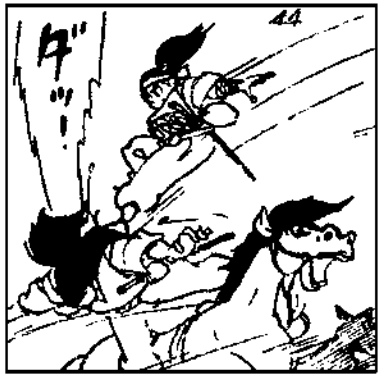

39
ピ
ミ
ミ
ル
ル

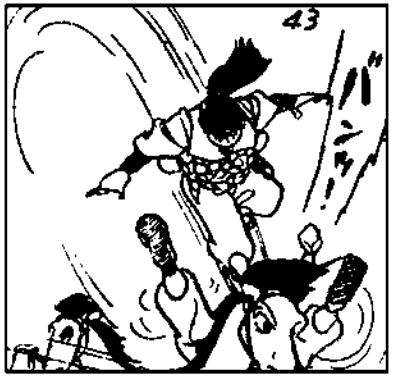

38
ビュー
!


40

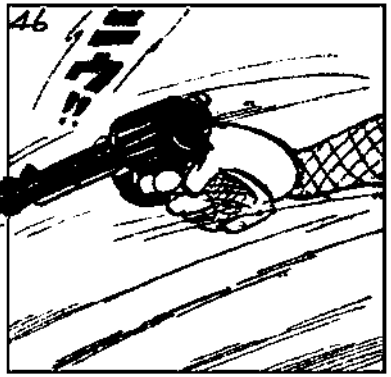

42
ガ

たーっ
41

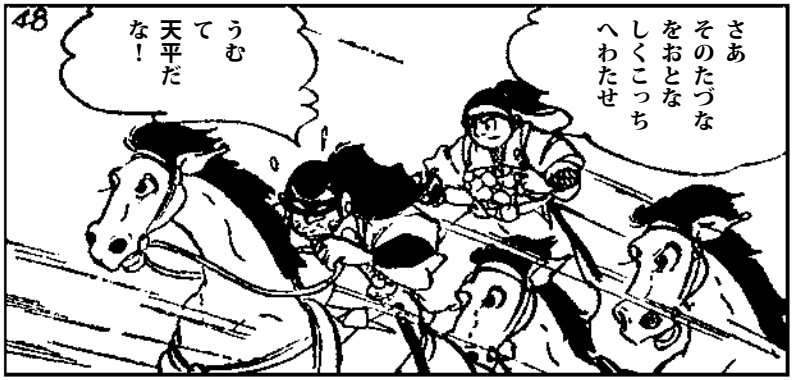

44
ガ


43
バ

45


46
ニウ!!

47
はっ！


48
さあ そのたづな をおとな しくこっち へわたせ
うむ て 天平だ な！

49
そうで す
……
……
ふふふ…

50
ふふふ… うわっはっ はっはっ ……
なにが おかし いっ!?

51
わっはっは… 天平っ！ うしろを みろ！
なにっ!?